

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスRoots		支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		9 月		1 日	
法人（事業所）理念		Rootsは英語で根っこを意味します。社会基盤の根っこは”人”であり、生まれ育った環境が違っていてもすべての人が社会とつながり、それぞれの地域で生活しています。Rootsは、お子様の生まれ持った個性や特性に関わらず、みんなが自分らしく社会で生きていくための環境を整えること、そして、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援します。											
支援方針		①生活の力 時間を見て行動するなどお子さんの発達の度合いに合わせながら自分のことは自分で行う習慣を大切にする。 また、買い物や洗濯物の量み方、場に応じた適切な過ごし方、料理、挨拶など生活に必要な力を磨く。 ②自分らしく生きる力 集団で過ごす中で、優しい言葉のやり取りや経験、伝える力や聞く力を養う。 自分の心を大切にするために、自分で選んで決める経験や、自分の感情を理解する、望んでいることをキャッチする経験を積み重ねる。 ③未来に繋がる力 体や心、全ての感覚を使ってめいめいいっぱいいろいろなことにチャレンジ、経験してみる。「やってみたい!!」という気持ちを応援し、豊かな経験の場を広げる。 豊かな経験1つ1つが、子どもの未来につながる。											
営業時間		月曜日から金曜日 9時～18時				送迎実施の有無		あり なし					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	日常生活に必要なスキルを楽しみながら身につけます。「自分でできた!」という達成感を感じながら、自信を育んでいきます。 (例) 日々の健康チェック、クッキング、衣服の着脱、身だしなみの整え方、スケジュール表などを用いた時間や課題の構造化											
	運動・感覚	体を使った遊びを通して、運動機能と感覚機能を総合的に育てます。また、手先を使った遊びを通して、指先の器用さや巧緻性を高めます。個々の感覚特性に応じ、お子様が安心して過ごせるよう環境を調整します。 (例) サーキット、屋外活動、運動遊び、感覚遊び											
	認知・行動	ルールのある遊びや色や数、因果関係の概念を理解できる遊びを通して「考える土台」を身につけ行動の理由付けや判断力を育みます。また、状況に応じた適切な行動やコミュニケーションの仕方を身につけることで、ストレスや対人場面での困難に対し、前向きに対応できる力を養います。 (例) ルール遊び、実験遊び、制作活動、SST											
	言語コミュニケーション	集団遊びや自由遊びの時間を通じて、自分の気持ちや考えを伝える力、相手の話をよく聞く力を養います。また、気持ちや言葉、表情、ジェスチャー、視覚的に示された情報から正確に意味を受け取ることができるようサポートします。 (例) ルール遊び、絵本、言葉遊び、感情表現のワーク、役割のある遊び											
	人間関係社会性	事業所内での日課や、遊びを通して集団で行動するときのルールや協調性を身につけられるようサポートします。また、お子さま個々にあった方法を通して、自分の気持ちや行動を理解し、調整できる力を育んでいきます。 (例) 協同遊び、ロールプレイ、タイマーや視覚的スケジュールの提示、振り返り											
家族支援		保護者同士の交流の場を設ける（保護者座談会など） 個別の相談支援など				移行支援		児童の発達や特性に関する学校等への情報提供、サポートブックや関係機関連絡票の作成及び進級・進学先への情報提供や相談援助など					
地域支援・地域連携		学校等との情報交換や相談援助、地域福祉施設・医療機関等との連携など				職員の質の向上		年間研修計画に沿った法定研修の実施、支援に関わる知識技能に関する研修の受講					
主な行事等		季節ごとのプログラム活動（夏祭り、クリスマス会、卒業式など）											